

きずな

2024 **3** March

今号の題字
都城市立高崎中学校 2年
鮫島 志芙美さん



「生徒が主役の高崎中」

「ボランティア活動とSDGs学習を
通して」

都城市立高崎中学校(枇杷善彦校長・生徒数176名)は、県南部に位置し、豊かな自然に囲まれています。

本校は、地域貢献の一環として、ボランティア活動に積極的に取り組んでいます。地域からの延べ11回のボランティア要請に対して、150人がボランティア活動を行いました。また、毎週水曜日、「とことこクリーン大作戦」という登校中のゴミ拾い運動にも取り組んでいます。

次に、SDGs学習では、地域の方々のご協力のもと「高崎の未来を考える会」を実施しました。20名の地域の方々が3年生とともに高崎の未来について議論しました。今後、これらの活動を継続していきたいと思えます。

【教頭 日高 幸浩】

CONTENTS

- 2・3 宮崎県PTA研究大会えびの市・小林市・西諸県郡大会
令和5年度 表彰者・団体
- 4 日本PTA九州ブロック研究大会佐賀大会
- 5 宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール
コラム「三輪車」
- 6 トピックス「日南市立東郷小中学校」
編集後記



宮崎県PTA連合会
ホームページ



編集・発行：宮崎県PTA連合会

発行責任者：森山 慎作

宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階 Tel:0985(22)3081 FAX:0985(20)9443

http://www.miyazakikenpta.com E-mail: mken-pta@io.ocn.ne.jp

第65回 宮崎県PTA研究大会 えびの市・小林市・西諸県郡大会



延岡西白杵キャラバン隊



パネルディスカッション



表彰



大萩 康司氏

令和5年12月2日(土)、第65回宮崎県PTA研究大会えびの市・小林市・西諸県郡大会が実施されました。

アトラクションではギタリストの大萩康司氏を招き、美しく繊細な音色に癒され、序盤から心を捕まれるステージとなり、本日の盛り上がりを大いに期待させました。

開会宣言の後は国歌斉唱、PTAの歌斉唱と続き、功労者への表彰が行われ、12団体、個人で10名がその功績を称えられました。

小林市立細野小学校の研究発表では、プラスの言葉へ言い換えを考えると、「言い換えかると」もユニークで良質なPTA取組の一つだと感じました。「朝食支援」や、安心安全な学校のために防犯カメラを設置したことなどニーズに沿った意欲的な活動が多くあり、発表後に質問が集中していました。

高鍋町立高鍋東中学校では、ミニバレー大会開催におけるそれぞれの思いをコミカルに話しながら、行事開催の難しさを伝えていました。その上で今後のPTA活動そのものの在り方を模索している様子でした。

両校ともコロナ禍でいかに活動すべきかの苦労や工夫があることや、必要なPTA活動と軽減させていくPTA活動とのバランスに苦慮し試行錯誤している様子には、会場全体が共感していました。

パネルディスカッションでは6名のパネラーを迎え、「自分の未来を色で表すと何色?」の問いかけから会場全体を巻き込み、意欲的にディスカッションへと入っていききました。会場でこそ味わえる熱量と真剣さに包まれ、大会の一日が過ぎていききました。

家庭と学校、地域をつなぐPTA活動
小林市立細野小学校 PTA事業部長 山下健一

本大会と九P佐賀大会において、本校PTAが家庭や学校、地域と一体となって実践している、次の4つの活動について発表しました。

- ①小中学校合同で、親子を対象に、地域の講師を招いて行っている家庭教育学級
- ②読み聞かせや夏休みのプール開放、体育的行事の運営補助など、児童の健全育成活動

③校内の除草作業や植木の剪定など、児童の学習環境をよくする親子美化作業

④祭りの灯ろう作りや朝食支援、防犯カメラの設置など、まちづくり協議会との協働活動

これらの活動によって、親子をつなぎ、小学校と中学校をつなぎ、学校と地域をつなげることができています。今後も、「子どもたちのために、保護者や教職員、地域の人それぞれが協力して活動できるものになっていくか」という視点で、改善を図りながら、三者が協力して楽しくPTA活動を続けていきたいです。



連携協働を考えたこれからのPTA活動の在り方
「コロナ禍での経験を生かした活動へ」
高鍋町立高鍋東中学校 PTA会長 小泉達成

本大会において、コロナ禍後の「地域と子ども・PTAのつながり」や「PTA活動」について発表させていただきました。

主な内容として、子どもたちが普段担当している清掃場所を一緒に清掃するという親子奉仕作業、家庭だけでなく地域の方にもアルミ缶回収を依頼、地域のボランティアや企業とのつながりなど、具体的な活動について紹介をさせていただきました。

PTA加入率が100%の中で、大きな活動の1つだったミニバレーボール大会でしたが、アンケートをした結果中止することになりました。今後のPTA活動自体を見直す機会となりました。コロナ禍前と後では、地域やPTA活動との連携や保護者と教職員のつながりについて変化している状況となっています。これらの関係づくりを改めてどのようにしていくのか、再構築していくことを検討していかなければならない時期となったのです。

PTA活動に対する保護者の考え方が変わってきている中で、地域と繋がっているところは発展させ、担い手不足やPTA加入率の低下を予見しつつ、誰もが楽しくできるPTA活動を推進していきたいと思えます。



実行委員長 田代 好秀

コロナ禍以降、久しぶりとなるフルスペックのプログラムの下、第65回宮崎県PTA研究大会えびの市・小林市・西諸県郡大会を多くの参加者に見守られながら、成功裏に終えることができましたこと、実行委員会を代表してお礼申し上げます。

本大会の内容を検討する際に、西諸の地から何か発信力のある会にしたいと委員一同思いを一つに準備に邁進してまいりました。

実行委員会の思いを実現するために、西諸にゆかりのある人材を活用した内容にこだわり、小林市出身の国際的ギター奏者である大萩康司さんにアトラクションをお願いし、プロの卓越した技術とストーリー性のある見事な演奏に感動を覚ええました。

また、飯野小学校の卒業生である宮崎大学特別講師の中山隆さんにファシリテーターを務めていただき、小林市出身の柗崎庄二

さん、高原町出身の温谷禎

康さん、飯野高校指導教諭の梅北瑞輝さん、アトラクションを担当いただいた大萩康司さん、そして県PTA連合会の森山慎作会長という錚々たるメンバーをパネラーに迎え、パネルディスカッションを行いました。ステージと会場とが一体となった熱い対話は、実行委員会を目指してきた「発信力のある、西諸ならではの大会」を具現化するものになったのではと自負するところであります。

今回、各校の研究発表を含め私たちは多くのことを学びました。この学びを宮崎の子どもたちの未来に繋げていきたいと思えます。

実行委員会の思いを実現するために、西諸にゆかりのある人材を活用した内容にこだわり、小林市出身の国際的ギター奏者である大萩康司さんにアトラクションをお願いし、プロの卓越した技術とストーリー性のある見事な演奏に感動を覚ええました。



田代実行委員長

おめでとうございます!
PTA活動の発展・充実に寄与
● 令和5年度 ●
表彰者・団体

- 日本PTA全国協議会表彰**
- 団体** 三股町立長田小学校PTA
小林市立須木小・中学校PTA
 - 個人** 岡本吉弘 (宮崎市立久峰中学校PTA)
片江豊春 (日向市立財光寺中学校PTA)

- 優良PTA文部科学大臣表彰**
- 団体** 都城市立明道小学校PTA
門川町立草川小学校PTA

- PTA活動振興功労者表彰**
- 個人** 西府茂樹 (宮崎県PTA連合会顧問)

- 宮崎県社会教育優良団体表彰**
- 団体** 新富町立富田中学校PTA

- 九州ブロックPTA協議会表彰**
- 団体** 国富町立木脇小学校PTA 都城市立明道小学校PTA えびの市立飯野小学校PTA
延岡市立北浦小学校PTA 日向市立財光寺中学校PTA 高千穂町立田原小学校PTA
 - 個人** 片江豊春 (日向市立財光寺中学校PTA) 山下博之 (えびの市立加久藤小学校PTA)
菊池基文 (綾町立綾中学校PTA) 藤本司 (諸塚村立諸塚中学校PTA)
福島英樹 (宮崎県中学校長代表)
 - 感謝状** 岡本吉弘 (宮崎市立久峰中学校PTA)

- 宮崎県PTA連合会表彰**
- 団体** 宮崎市立大宮小学校PTA 宮崎市立本郷中学校PTA 日南市立榎原小学校PTA
串間市立大東小学校PTA 都城市立南小学校PTA 都城市立庄内中学校PTA
三股町立三股小学校PTA 小林市立細野中学校PTA 西都市立三納小中学校PTA
延岡市立南小学校PTA 延岡市立浦城小学校PTA 高千穂町立田原小学校PTA
 - 個人** 佐藤満春 (宮崎市立宮崎北中学校PTA) 長友昭 (日南市立東郷小中学校PTA)
谷口大海 (串間市立串間中学校PTA) 川野希 (都城市立高崎中学校PTA)
橋本和弥 (小林市立西小林小学校PTA) 中野岳則 (えびの市立飯野中学校PTA)
志村正人 (高原町立広原小学校PTA) 清島貴光 (延岡市立東海中学校PTA)
日高伸吾 (美郷町立美郷北義務教育学校PTA)
内村千春 (五ヶ瀬町立三ヶ所小学校PTA)



佐賀大会

分科会 令和5年 10月28日(土)
県内6会場

全体会 令和5年 10月29日(日)
SAGAアリーナ

大会スローガン

SAGAそう 子どもの未来 見直そう PTAの力



谷田 千里 氏



全体会



佐賀学園高校マーチングバンド

九州各地より約5000名の参加があった今年の九P大会は、初日は第1〜5・特別分科会それぞれに分かれ、代表校が研究領域に沿った内容について発表を行いました。2日目の全体会は令和5年5月にできたばかりのSAGAアリーナで、佐賀学園高校マーチングバンドの素晴らしい演奏で幕を開けました。開会式後、各団体個人に表彰・感謝状が授与されました。また、今年度初となるPTAの趣旨を理解し学校を中心とした地域環境の発展に貢献した方を表彰する「きらりと輝く九州人大賞」は3団体が受賞され、活動状況の紹介がありました。閉会式の後、株式会社タニタの谷田 千里氏による記念講演が

行われタニタの姿勢と考え方について話され、スペシャルゲストとしてはなわ氏も参加されました。

第2分科会

家庭教育

「立ち向かう心と支える取り組み」

宮崎県PTA連合会 会長 森山 慎作

小林市立細野小学校からは、親子で楽しめる家庭教育講座や地域参加型のあいさつ運動、朝食を摂らなかつた児童に対する朝食支援など、家庭・



第2分科会

学校・地域をつなぐ様々な取組が紹介されました。校内の空き教室に事務局を置く「まちづくり協議会」の存在は大きなポイントで、人をつなぐつながる仕組をいかに構築していくかの重要性を学ぶことが出来ました。熊本市立下益城南中学校からは、親×学校×親校会と称しその活動を推進、子どもと共に大人も育つ「共育」としての活動事例が紹介されました。学校との情報共有を重視しPTAとして何ができるかを考えながら、子どもたちの「今」を精一杯支えていきたいという言葉が大変印象的でした。

第3分科会

人権教育

「現在の人権教育を知り、向き合う活動」

宮崎県PTA連合会 副会長 中竹 佳奈

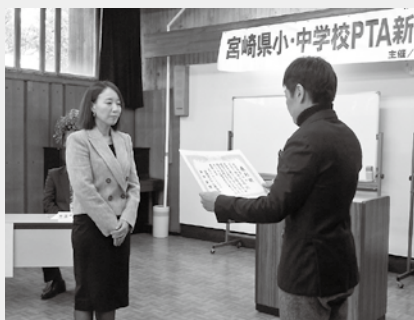
唐津市で開催された第3分科会は「人権教育【過去、現在、未来の人権問題】」をテーマに研究発表と討議が行われました。鹿児島県大川内小学校では、登下校見

守り活動をされる地域の方が子どもたちの普段の声を聴く中で、標準服の着用基準の見直しに繋がった事例が挙げられ、子どもたちの考え方や時代の流れの変化に、地域も学校も課題を共有しながら柔軟に対応していくことが大切だと感じました。大分県山香中学校ではPTA主催の人権講演会の開催や自治体主催の人権講座へのPTA会員の参加など「人権教育」に焦点を当てた活動が積極的に行われており、保護者の人権意識の啓発の取組として大変参考になる発表でした。

現代社会では一口に「人権問題」と言っても、女性・子ども・高齢者・障がい者・性自認・貧困・国籍・民族・病気・虐待・ネットトラブル等々、様々な要素が含まれています。「人権」とはすべての人が生まれながらに持っている普遍的権利です。すべての人の人権が尊重され、その人らしく生きることが出来る社会であるために、子どもたちのみならず、大人たちも常に学び、理解を深め続ける必要があると感じました。

小学校の部の最優秀賞は3年連続で宮崎市立西池小の

講評
毎日新聞宮崎支局長
加藤学



1月の合同審査会を経て受賞校8校が選ばれ、2月14日(水)に表彰式が行われました。最優秀校の宮崎市立西池小学校から、知りたいものを追求する姿勢の大切さや保護者の今の声をそのまま伝えたいなどのお話をいただきました。日南市立油津中学校からは、思い出になるような紙面作りへの姿勢から家庭と学校を繋ぐ広報紙の役割が感じられました。毎日新聞社宮崎支局長からはコロナ禍またそれ以降で広報紙に変革が起きている現状について述べられました。変わっていく広報紙の今後が楽しみです。

期待が膨らむ新しい動きでした。

な新聞が上位に顔をだしました。今後への

費用もかからず、タイムラグなく届けることができるから、というのが始めた理由だそうです。また、「おすず」や「Green9」といったフレッシュな新聞が上位に顔を

「西池」です。「給食ができるまで」「スマホ事情」といった定番企画から、努力義務化された自転車ヘルメット▽特別支援学級と発達障害・医療的ケア児といった社会性の高い記事まで、充実した企画が秀逸でした。中学校の部も日南市立油津中の「雀八重」が4年連続の最優秀賞に輝きました。卒業生を取材した「受験生へのアドバイス」や生徒が地域の協議会と一緒に汗を流した清掃などの活動を紹介。「読みやすいレイアウトとバランスのとれた紙面」は健在でした。

最優秀賞

小学校

中学校



「西池」
宮崎市立 西池小学校

「雀八重」
日南市立 油津中学校

【令和5年度 第44回宮崎県小・中学校PTA新聞コンクール入賞校】

小学校			中学校		
最優秀賞	西池	宮崎市立西池小学校	最優秀賞	雀八重	日南市立油津中学校
優秀賞	おすず	都農市立都農小学校	優秀賞	Green9	木城町立みどりの杜木城学園
優良賞	北浦小 PTA新聞	延岡市立北浦小学校	優良賞	あけぼの	宮崎市立本郷中学校
努力賞	いしがき	日南市立飴肥小学校	努力賞	つまがおか	都城市立妻ヶ丘中学校

応募総数 28校 (小学校20校、中学校8校)

●令和5年度●「国内研修事業」参加者について

日本PTA全国協議会では、中学2年生を対象に集団宿泊を通じてコミュニケーション能力や他者への理解を高めるとともに、体験活動を通じて社会環境や自然環境への視野を広めるための研修事業を行います。

宮崎県PTA連合会からは、作文審査により推薦者を2名決定いたしました。

鶴田 絆 さん (新富町立富田中学校)

永田 香乃 さん (延岡市立西階中学校)

- 期間 令和6年3月26日(火)～3月30日(土) 4泊5日
- 場所 国立沖縄県青少年交流の家 沖縄県立糸満少年自然の家

第69回日本PTA九州ブロック研究大会 長崎大会

- 分科会 2024年10月26日(土) 会場
- 全体会 2024年10月27日(日) 出島メッセ長崎

第72回日本PTA全国研究大会 川崎大会

- 分科会 2024年8月23日(金) 会場
- 全体会 2024年8月24日(土) 川崎市とどろきアリーナ

コラム 二輪車

明日葉の料理

宮崎市立内海小学校
校長 岩切靖代



「今日摘んでも明日には新しい芽が出る」と言われる明日葉は、成長が早く生命力が強いセリ科の多年草です。栽培されている地域の方に教えていただき、活動に取り組んでいます。

地域の方のご協力をいただいて、今年度も12月に、明日葉の料理を行うことができました。

一つは、明日葉の天ぷらです。柔らかな葉に薄い衣をつけ、油で揚げ、葉の爽やかな香りを楽しみながら美味しくいただきました。

もう一つは、明日葉餃子です。餡の中に刻んだ明日葉をたっぷり入れ、皮の中にも練りこんであります。地域の方が、明日葉を練りこんだ皮を準備してくださいました。子どもたちは、餃子を作り、焼き、食べました。大喜びの子どもたちを見守ってくださる地域の方々に、感謝の気持ちでいっぱいになります。

栽培活動をしてくださる地域の方、地域センターの方、まちづくり協議会の皆様などたくさんの方に支えられふれあい、子どもたちが育っていくこと、素晴らしいことだと思います。子どもたちをとりまく全ての方々のお力をいただきながら、楽しく充実した学校生活を送れるよう支えていきたいと思っています。

ふるさとを愛する心、地域とのふれあい

〔日南市立東郷小中学校〕(田村英雄校長 児童・生徒数273名)

東郷小中学校は、田んぼに囲まれた自然豊かなのかな学校です。小中一貫校となり11年目、児童生徒数273名のPTA戸数179戸の中規模校です。

ふるさとを愛する心、地域の人のふれあいのPTA活動、地域の方の学校での活動を紹介します。

〔校区内、海がめ産卵地、風田浜清掃〕

年に一度、校区内にある海がめ産卵地、風田浜を産卵時期に合わせて、海がめ保護の監視員の方と打ち合わせを行い、清掃活動を行っています。コロナ禍で4年間活動できず、本年度は活動が再開出来ました。従来であれば、地域の方や企業の方の協力



いただけますが、本年度は生徒・保護者・先生の参加で、朝早くから約130名が集まり活動できました。この活動を通して、生徒たちの「自然を守る心」「動物を愛する心」「ふるさとを大事に想う心」が養われていくことを願っています。

〔地域の方とのふれあい〕

毎年ひな祭りが近付くと学校の一室にひな壇飾りが登場します。地域の婦人会の方々が、毎年ひな人形を飾る家庭が減り、



ひな壇を見る機会がない生徒たちのために「健やかに育ち幸せになっしてほしい」という思いを込めて飾り付けてくださっています。2月後半から3月3日までの約10日間展示されています。生徒たちは、みんな笑顔でうれしそうに見学して

います。また、地域の方も生徒たちからの手紙を受け取り「やってよかった」と喜ばれています。

保護者以外の方が学校に訪れる機会はほとんどありません。このような昔から伝わる年中行事や地域の行事を通して、学校・生徒・保護者・地域の方々のふれあいを深めていきたいと考えています。そして、生徒の交通安全や防犯対策などにも取り組んでいけるように、地域との連携を強化して、さまざまなPTA行事を通して参加していきたいと思っています。

【PTA会長 井上英彦】

編集後記

中2の息子と夫がラージボールをはじめ、毎週いきいきと教室に通っています。教室には様々な世代の方がいて、最年少の息子は皆さんから可愛がられており、夫との試合では、息子にだけ声援が集中するそうです。

平田

編集に関わるようになって3年。PTA活動が地域と学校そして家庭をつなぎ、よりよい教育環境を築くために重要な役割を担っていることを改めて実感しています。本紙がPTA活動への理解を深め、多くの保護者(Parents)と教職員(Teachers)が積極的に参加できる団体(Association)となる発展への一助となれば幸いです。田上

娘の出産で知人作家さんにおむつケーキを注文。出来上がりを見て超びっくり。昔はもつとシンプルでおむつむき出しタワーが主流でした。今時は可愛いグッズも組み込んであって豪華絢爛です。おむつケーキから学んだこと。「昔の常識今の非常識」肝に銘じます。西村

インターネットやSNSを上手に使えば、生活にプラスになりますよね。最近、中学生の子どもが「名言」を調べるのにハマっていて、日常生活で頑張れるようなプラスの名言を教えてください。親子で「たしかに!」と言いながら楽しんでいきます。田中

◆訂正

「きずな」11月号P5「三行詩入選作品紹介」の中学生の部 牧 桜子さんの学校名に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

正 夏尾中学校
誤 岡富中学校